



風かおる
人が輝き
躍動するまち

とままえ

8

No. 612



まちひと百景

「千の風になって」で共演！

秋川雅史&N響メンバーによる弦楽五重奏名曲コンサートが7月19日(木)町公民館で開催された。

アンコールでは本町で活動しているクリスタルコーラスと男性コーラス隊のウィンドセブンは共演、「千の風になって」1曲のみだったが、日本を代表するテノール歌手と弦楽五重奏団との共演に、会場から惜しめない大きな拍手がわき起こった。

- 地域を見守る住民の集いほか… 2
- 齋藤監査委員に感謝状ほか… 3
- まつり特集ほか… 4~5
- 秋川雅史&N響メンバーコンサートほか… 6
- 健康ばんざい… 7
- 国民健康保険ガイド… 8
- 国民年金・ファイヤー通信… 9
- 学びの広場… 10
- 住まいる情報… 11
- 風車まつりギャラリー… 12

まちの人口

人口/3,533人 (男/1,679人:女/1,854人)
世帯数/1,634世帯 (7月31日現在)

URL:<http://www.town.tomamae.lg.jp>

子どもの安全は？ ～地域を見守る住民の集い兼通学路等パトロールボランティア研修会～



7月2日(月)公民館で地域を見守る住民の集い兼通学路等パトロールボランティア研修会が約100名の参加で開催された。

冒頭で森町長は「本日の話の結果をこれからの活動に活かしてほしい」と挨拶。羽幌警察署生活安全課の三浦文郷生活安全係長より「子どもの安全対策について」の講話が行われた後、「子どもの安全はこうして守る」と題して日本子どもの安全教育総合研究所の宮田美恵子理事長の講演が行われた。

「犯罪は人気のないところや暗いところで起こるのではない。どんなところでも犯罪が起きている。地域でのパトロールや見守り活動も効果的だが、子どもにも発達段階に応じた安全教育が必要」と参加者に語った。

本町で生産されている減農薬の大豆が山形県で納豆の原料に

http://www.dewar.jp/natto/

現在、この納豆を本町で買うことはできないが、有限会社高島納豆のホームページで購入することができる。

山形県の有限会社高島納豆(加藤博代表取締役)で作られている納豆に本町で生産されている減農薬で特別栽培(YES CLEAN)された大豆が使用されている。

J A 苫前町(松原幸博代表理事組合長)の農業振興部が、本町で作られた減農薬の大豆の販路拡大のため、全国の工場等をインターネットで調査、同企業を発見、電話での依頼や直接山形県と同企業事務所を訪問するなどの積極的な活動が功を奏し、本町で生産される大豆の約1割にあたる40トンを出荷、使用されることとなった。



町教育委員会も学校配置計画案を町長に提出



7月9日(月)町長室で町教育委員会の学校配置計画提言書が同委員会の岡田裕幹教育委員長から森町長に手渡された。

先月22日には苫前町立学校建設検討委員会(尾泉義博委員長)より提言書が提出されている。

町教育委員会からの提言書は、町立学校建設検討委員会と同様に、子ども達の教育環境を第一優先としているが、学校配置の方向性は、「苫前小学校は苫前中学校に、古丹別小学校は古丹別中学校にそれぞれ併設すること」とされている。

提言書を受け取った森町長は「議会で最終決定するが、町立学校建設検討委員会の提言も含めて、自分なりに判断して議会に提案したい。子どもの教育を第一にしっかりと考えたい」と述べた。

苫前町立学校建設検討委員会の方向性

●苫前小学校のあり方

苫前中学校敷地内での併設も可能だが現校舎が好立場所であることを勘案して、同敷地内で単独改築が望ましい。

●古丹別小学校のあり方

古丹別中学校敷地内での併設も可能だが、教育条件と市街地内に建設可能な造成地がないことを考慮して、現校舎敷地内での単独改築が望ましい。

●町内小中学校配置のあり方

小学校は、将来複式学級になることが予想されるが、苫前・古丹別の両地区にそれぞれ小学校を配置することが望ましい。

中学校は、学年単独による授業が望ましいため、複式学級編成基準該当の時機に、中学校統合についてのあり方を検討することが望ましい。

小学校は、安全性・規模のコンパクト化・事業費縮減・地域コミュニティと融合した多目的・複合的な機能を配慮した計画設計が望ましい。

町教育委員会の方向性

●苫前小学校のあり方

苫前小学校を現地区内の苫前中学校に併設すること。

●古丹別小学校のあり方

古丹別小学校を現地区内の古丹別中学校に併設すること。

●町内小中学校配置のあり方

① 小中学校の教職員の連携・協力体制の強化が図られ、学力向上への期待が大きい。

② 異年齢交流により、心と体の発達等への良い効果が期待される(いじめ・不登校等の減少への期待、合同行事の実施による社会性・協調性の向上への期待、部活動を通じての面倒見や信頼性の強まりを期待)

③ 特別支援教育への指導及び支援の充実拡大が期待できる(共通認識とスムーズな支援を期待)

齋藤浩正監査委員に感謝状を贈呈

6月30日に任期満了で監査委員を退任することとなった齋藤浩正さんへの感謝状贈呈が7月5日(木)役場町長室で行われた。

町の課長職が見守る中、感謝状が齋藤さんへ手渡され、「大変光栄である。2期8年間に渡り務めてきたが、無事に事故なく職責を全うすることができた。改めて皆さんに感謝します。役場職員の皆さんも町民のニーズを受け止め、流行に流されず、町長の執行方針に基づきまちづくりをお願いしたい」と述べ、エールを送った。

なお、新しい監査委員には前出納室長の岡田貴行さんが就任した。



水槽にカニがたくさん！

～カンガルースクール・とままえふるさと塾「カニ釣り」～



7月8日(日)苫前漁港新港横でカンガルースクールととままえふるさと塾が、小学校就学前の幼児とその保護者、小学生などあわせて10組24名が参加し開催された。

この場所はカニがよく釣れる穴場として3、4年前から同事業で実施してきており、人気のある内容だ。この日も今にも雨が降り出しそうな曇り空にもかかわらず、イカの切り身をエサにカニを釣って、一喜一憂していた。

中にはアブラコの幼魚を釣り上げ、一躍ヒーローになる参加者もいたようだ。最後には釣ったカニを磯に戻したが、参加した子ども達のちよつと残念そうな表情が印象的だった。

地引き網で何が採れたかな！

～学社融合事業「地引き網」～

7月11日(水)力昼番屋の沢バス停留所裏で学社融合事業「地引き網」が開催され、苫前小学校岩村直幸校長の4年生13名が海にどのような生物がいるかを調査した。

児童が2班に分かれ行われた地引き網の1回目は何れも以上の大漁でウグイ、チカ、ウミタナゴなどが採れ、実際の魚を前に児童は大興奮。「見せて、見せて」と自分たちが採った魚を一目見ようと殺到していた。

更なる大漁が期待された2回目では、網が岩に引っかかるなどで破けてしまうハブニングも。

それでもカジカやギンボウ、アイナメなど1回目と違った魚種が採れ、実際に見る魚に児童も目を輝かせていた。

7月11日(水)力昼番屋の沢バス停留所裏で学社融合事業「地引き網」が開催され、苫前小学校岩村直幸校長の4年生13名が海にどのような生物がいるかを調査した。

児童が2班に分かれ行われた地引き網の1回目は何れも以上の大漁でウグイ、チカ、ウミタナゴなどが採れ、実際の魚を前に児童は大興奮。「見せて、見せて」と自分たちが採った魚を一目見ようと殺到していた。

更なる大漁が期待された2回目では、網が岩に引っかかるなどで破けてしまうハブニングも。

それでもカジカやギンボウ、アイナメなど1回目と違った魚種が採れ、実際に見る魚に児童も目を輝かせていた。



長年の活動に感謝状贈呈

～18年間、保護司を務めた高田良一さんに感謝状～



7月11日(水)役場町長室で保護司を務めた高田良一さんに感謝状が贈呈された。

保護司は犯罪を行ったものの改善、更生の援助、犯罪の予防のための啓発などを行う非常勤の国家公務員として無報酬のボランティアで活動、現在町内に6名の保護司がいる。

本町では犯罪予防のための啓発活動を主に行っているが、高田さんは平成6年4月からの18年間、保護司として活動してきたが、75歳での定年を迎えたため、今回の感謝状贈呈となった。

全国的に保護司の約7割が60歳以上を占めると言われており、特殊な活動であるため、後任が見つからないこと、そして保護司の待遇見直しなどが必要と言われている。

海水浴場の無事故を願って

～とままえ夕陽ヶ丘ホワイトビーチ安全祈願祭～

7月13日(金)とままえ夕陽ヶ丘ホワイトビーチにおいて、安全祈願祭が開催され、町関係者、来賓などあわせて約30名が出席し、今年1年の無事故を願った。

雨が降る中行われた祈願祭では、祝詞奏上、1名ずつ玉串奉てんを行った後、森町長が「海水浴場における事故は、ここ数年発生していない。それぞれの立場で協力いただくとともに、特に学校関係者には子どもたちへの注意喚起をお願いしたい」と協力を呼びかけた。

今年のとままえ夕陽ヶ丘ホワイトビーチは、7月14日から8月20日までの期間で開設される。

7月13日(金)とままえ夕陽ヶ丘ホワイトビーチにおいて、安全祈願祭が開催され、町関係者、来賓などあわせて約30名が出席し、今年1年の無事故を願った。

雨が降る中行われた祈願祭では、祝詞奏上、1名ずつ玉串奉てんを行った後、森町長が「海水浴場における事故は、ここ数年発生していない。それぞれの立場で協力いただくとともに、特に学校関係者には子どもたちへの注意喚起をお願いしたい」と協力を呼びかけた。

今年のとままえ夕陽ヶ丘ホワイトビーチは、7月14日から8月20日までの期間で開設される。

